

PC貸出口ッカーからPC以外のものを 取り出してみようとした話



成城大学



スピーカー紹介

成城大学
メディアネットワークセンター
白木 麻衣

2023年1月 成城大学入職





成城大学について





学校法人成城学園

東京都世田谷区のワンキャンパスに幼稚園から大学・大学院までを
擁する総合学園

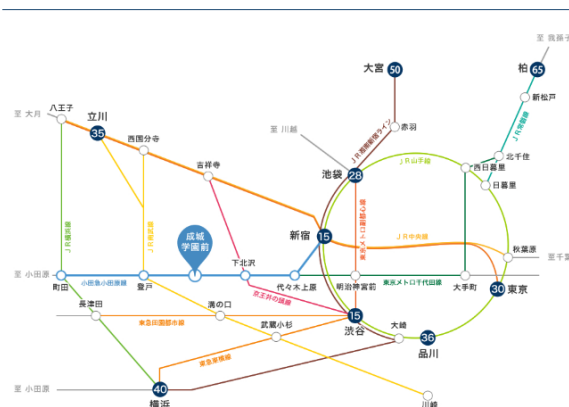
■ 成城大学

- 成城学園中学校高等学校
- 成城学園初等学校
- 成城幼稚園

学生数:5802名(院生含む)

※2024年5月1日時点

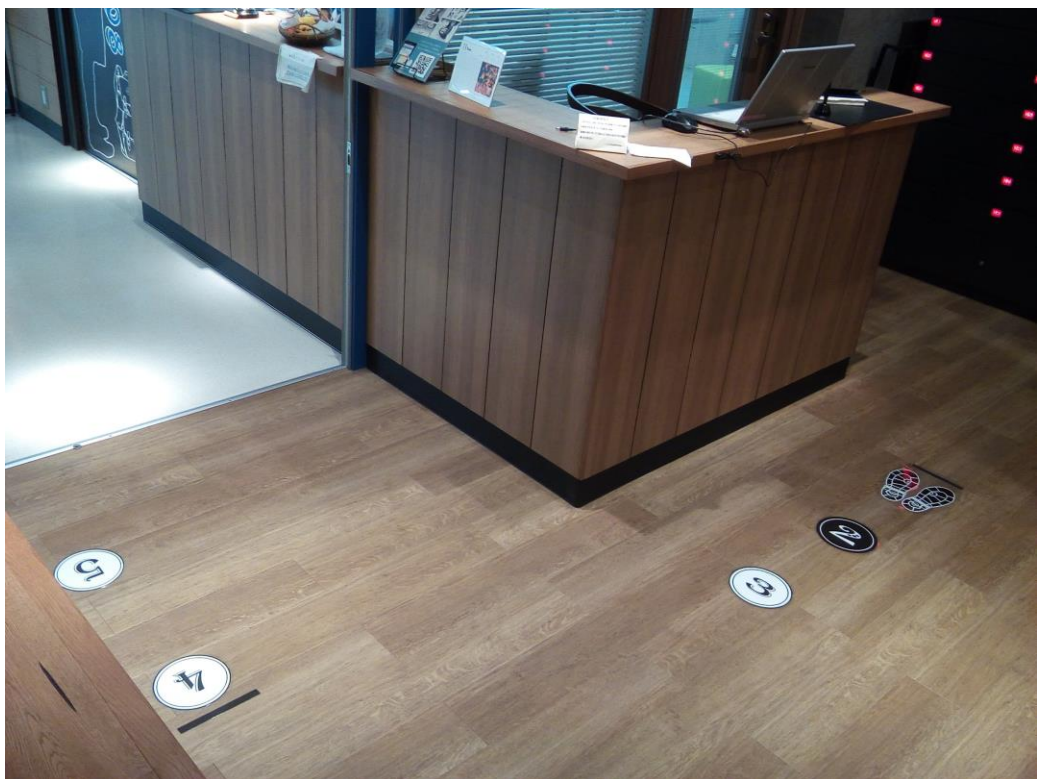
路線図





PC貸出口ッカーについて

コロナ禍前



誰でも借りられたので
列ができることも…

現在



申請した人のみが
借りにくる（すっきり）



きっかけ

PC貸出ロッカー

コロナ禍以前の使い方

1年に1回学生情報を一括(csv)で取り込み使用



コロナ禍で使用中止



2023年5月頃

使いたい学生が申請を行い
人手を介さずに使用できる形にしたい



Salesforce

2023年3月頃

Salesforceで学生情報等を集約して
管理できないか検討・検証



Salesforceに学生データや
PC貸出データを貯めながら
PCロッカーで貸出を行えるようにしたい！



当初話を聞いたイメージ



学生が申請

①



Salesforceに
データがたまる

②



ロッカーから
貸出可能

③貸出

④貸出状況確認



職員

もしかしたらできるかもしれない…



開発してみよう

必要な要件

申請方法

- 成城大学の学生だけが申請できるフォーム

データ送信

- PC貸出ロッカーサーバーの特定のディレクトリにcsvファイルとして貸出者の情報を置く必要がある

通知

- 職員が申請内容を定期的に確認できるようにする



開発してみよう

必要な要件

申請方法

- Googleフォーム

データ送信

- Salesforce
- Python
- Linuxサーバー

通知

- Slack

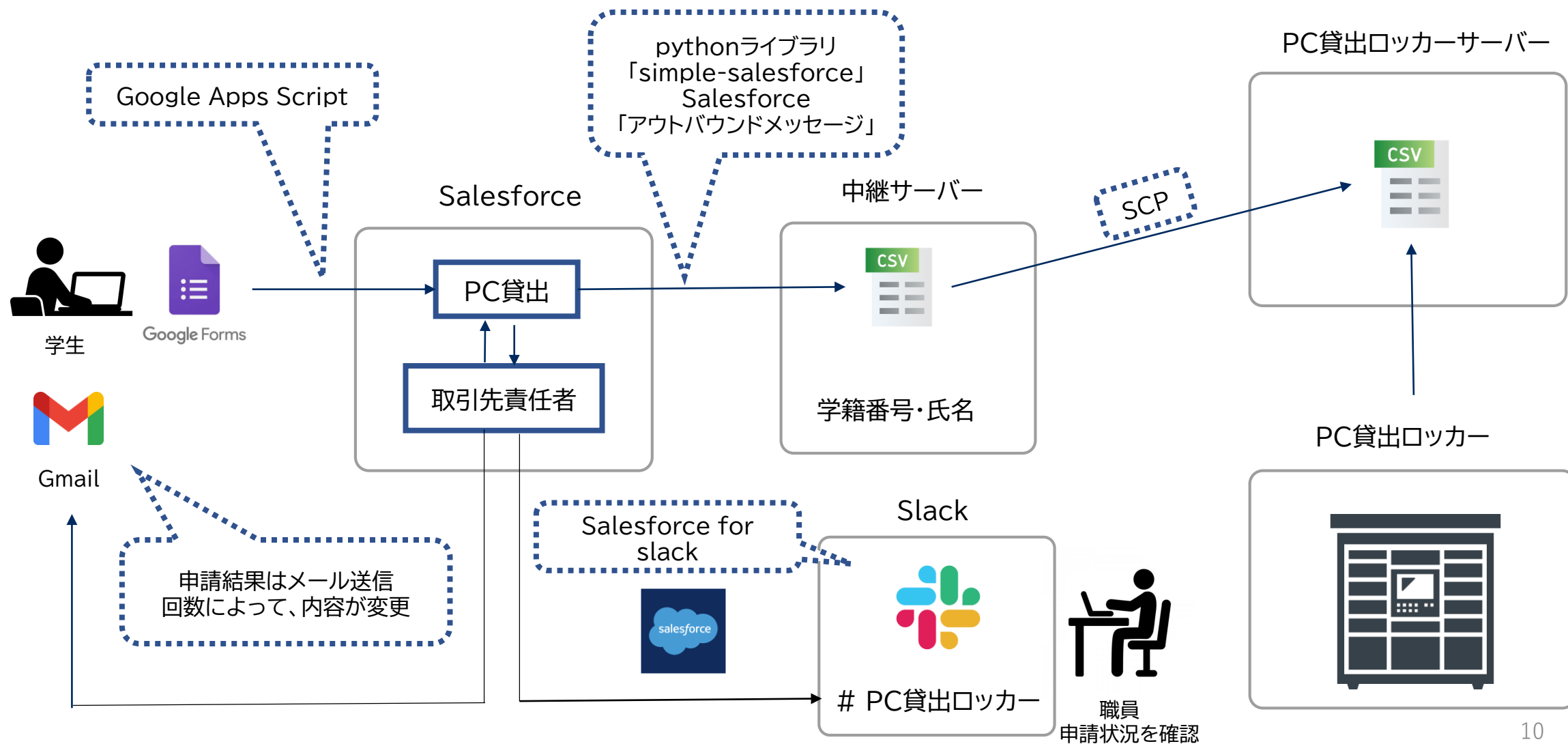
初めて使うもの
ばかり

chatGPT等を使用して
とりあえずやりたいことを
形にしてみようという一心

エラー→検索→実行の繰り返し…



実際の流れ





実際の画面(Slack)

Salesforce for Slack



運用チームからどういう情報が
欲しいかリクエストをいただき
随時表示内容は更新

pc貸出口ッカー ▾

+ 関連ページを追加する

5月20日 (月) ▾



Salesforce for Slack アプリ 11:34

PC貸出口ッカーの申請がありました

学籍番号: [REDACTED]

氏名: [REDACTED]

貸出希望理由: PCを忘れた

申請回数: 3回目



Salesforce for Slack アプリ 12:20

PC貸出口ッカーの申請がありました

学籍番号 [REDACTED]

氏名: [REDACTED]

貸出希望理由: PCを忘れた

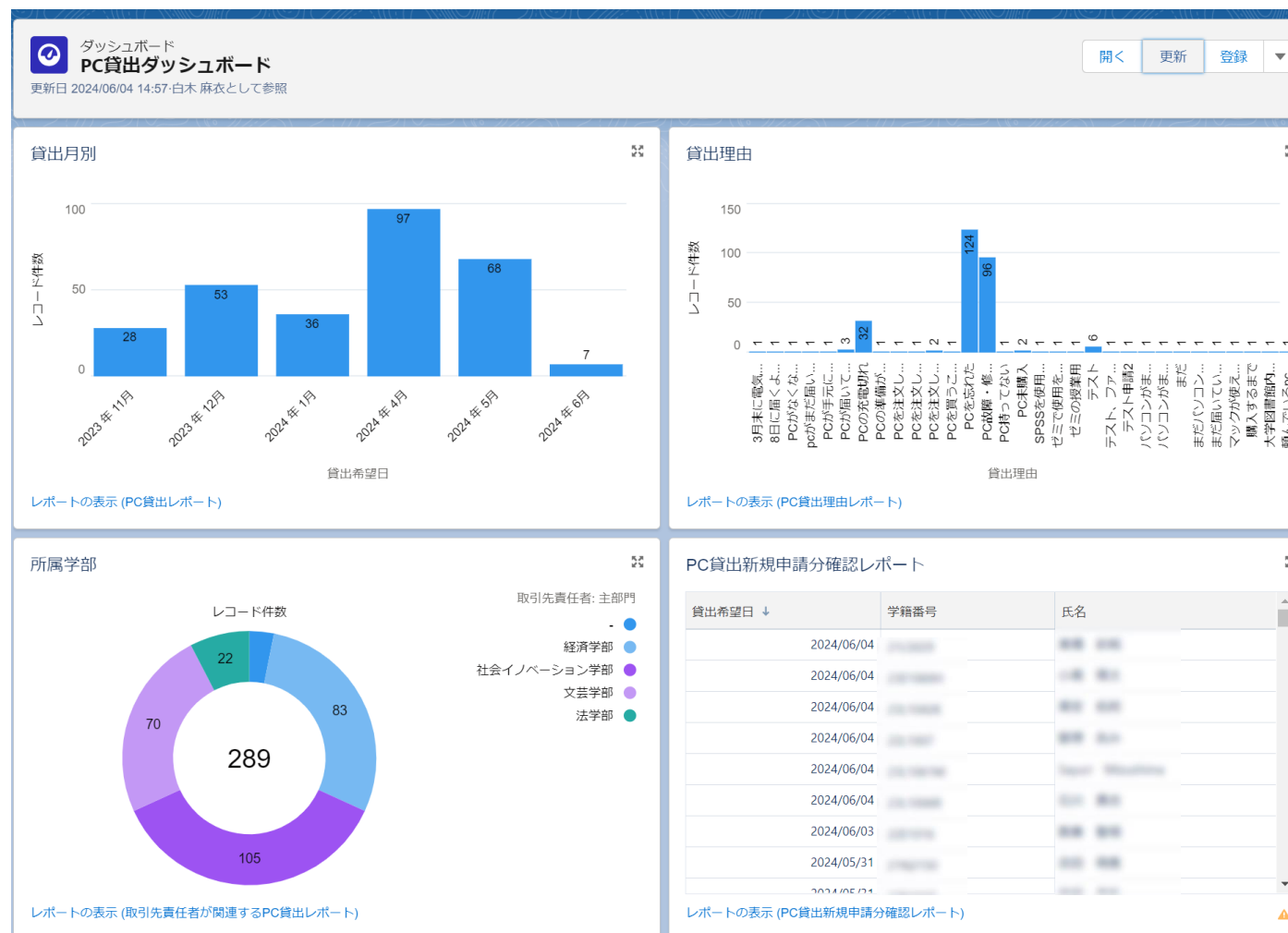
申請回数: 1回目



実際の画面(Salesforce)

学部別・月別など
必要に応じてグラフを
作成して表示できる

学生個人が何回借りて
いるか、確認できる





大変だったこと

開発をしたことがない！

何もしたことがないのにできるのかという漠然とした不安

CLIに対する苦手意識

苦手意識がすごくありました

SalesforceもLinuxも初めて…

1から調べてやってみての繰り返し

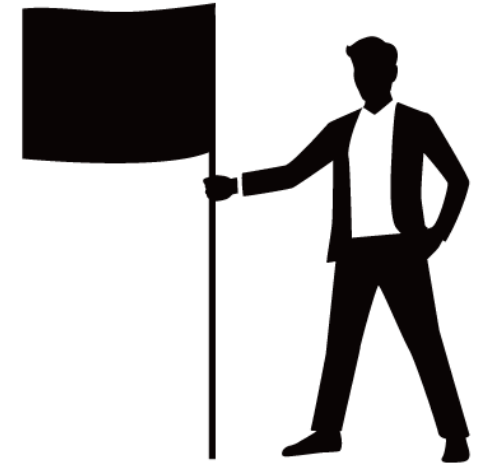




DXに必要なこと

とりあえずやってみようという雰囲気

失敗してもよいからやってみるという雰囲気があったので
とりあえず手を動かそうと思えました



相談できる周りの環境

調べてもわからないとき、相談できる人がいて解決すると
次に進むモチベーションになりました



成功体験

小さなことでも、作ったものが動くと達成感がありました



ご清聴ありがとうございました